

インターバンクの声（2015 年 10 月 29 日）

注目された米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明は、事前に予想されていた内容に近かった印象だ。12月の次回会合での利上げを明言することはなかったが、「次回の会合で利上げが適切かどうか判断する」との文言を加えるに留め、相変わらず市場に利上げ時期の特定をさせないようにした格好だ。声明の中で目立った部分は、やはり雇用の増加ペースが減速していることを気にしている様子が窺えることと、インフレ率が委員会の中長期的な目標を下回る水準が続いていると指摘した点だ。多くの方々が見立てているように、12月の会合までに2回の発表がある雇用統計の結果が鍵になってくるのかも知れない。あとは今回の声明では見当たらなかったが、そろそろ上昇して来るはずの時間当たりの賃金なども一応気にしておいたほうが良さそうだ。まだFOMCの声明に対する反応が落ちついた訳ではないが、本邦勢の目は既に明日の日銀が追加緩和に動くかどうかに向き始めているようだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。